

両角友成議員の6月県議会での質問と答弁の要旨を紹介し
ます。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、
質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



＊ ＊視覚障がい者支援について＊ ＊

両角 町を歩くと、当然あるべきと思われる歩道に誘導ブロックが敷
設されていなかったり、ペイントが取れてしまっている箇所もある。
今後の視覚障がい者誘導ブロックの敷設計画について伺う。

建設部長 R4年度の31.8 kmからR11年度までに38.7 kmへ増やす計画をしている。
既存のブロックの維持管理についても緊急性の高いものから更新や修繕を実施している。

両角 駅など主要施設周辺から離れると誘導音がない信号機が多く、視覚障がい者の
方々からの要望を踏まえ設置箇所を増やすべき。

警察本部長 R5年度末に県内の信号機の約25%にあたる888カ所に整備している。
引き続き視覚障がい者や高齢者等の要望を踏まえ環境の整備に努めていく。

＊ ＊マイナ保険証について＊ ＊

両角 資格確認書は今の保険証とほぼ同じであり、マイナ保険証と現行保険証どちらも
使える現在の状況を継続すれば、医療機関・患者・発行事務を担う行政機関のためにも
よいと考えるが、知事のその後の見解を伺う。

知事 マイナ保険証は医療DXの基盤となるもので、医療の充実にも役立つと考えてい
る。県としてはマイナ保険証への移行を進めていくことが重要。

両角 偽造マイナによる詐欺被害が相次いでいる。医療の個人情報への漏洩や他人に利用
される等、それこそ大変であり、粘り強く現行保険証を残すべきと訴え続けたい。

＊ ＊三桁国道・県道の維持管理、整備について＊ ＊

両角 路肩の支障木の処理が枯葉を払うだけで根本的な処理になっていない箇所があり、
交通障害を起こしている。根元からの伐採処理が最善の方法ではないか。日々のパト
ロールで危険箇所の現状把握はされていると認識している。ある建設業者の方曰く、やっ
て一番効果があり喜ばれる仕事で、事前に側溝の支障木が処理されていれば夜中に緊急
で呼び出されることも減るのではないかと話された。山間道路が多い県内で支障木の伐
採等が追い付いていないのは予算か担い手不足か、両方か。現状と今後の対応方針は。

建設部長 主にパトロールで現状把握に努めており、職員による枝払いや地元業者によ
る伐採により安全な通行を確保しているが、限られ

た予算で結果的に全ての要望に応えきれていない。
※国道143号会吉バイパスが開通しその先の青木峠バ
イパスにも地元住民の期待が高まっているとし、進捗状況
も質問しました。早期着工目指すとの答弁がありました。

＼質問を終えて＼

現行の健康保険証を残すべきの切り口で質
問しましたが、知事の答弁は、マイナ保険証の
推進でした。高齢者、施設入所の障がい者の
皆さんなど、マイナンバーカードの申請すら大
変な状況なのに。一人も取り残さない???

